

しあわせ

vol.521

2018年1月

H a p p i n e s s



謹んで新春の
ご挨拶を申し上げます



検見川神社 (千葉市花見川区)

法律相談

労働相談

くらし相談

多重債務

●ひとりで悩んでいませんか?

くらし何でも無料相談

ちばライフサポートセンター

☎ 0120-53-4141



2018年 年頭挨拶

すべての働く人の拠り所となる 労福協運動を進めよう!

(一社)千葉県労働者福祉協議会 会長 黒河 悟

新年明けましておめでとござい
ます。年頭に当たり千葉県労働者福
祉協議会を代表して新年のご挨拶を
申し上げます。

リーマンショック世界同時不況、
そして年越し派遣村などで格差と貧
困の問題が社会に顕在化し可視化さ
れ、労福協が中央地方で取り組み
を強化して10年が経とうとしていま
す。当時、このように深刻な状況を作
る原因となった「暴走する市場原理
主義・カジノ資本主義」は鋭く批判
され、価値観のパラダイムシフトの
必要性が指摘されました。効率と競
争最優先から公正と連帯を重んじる
社会を目指して大きく舵を切るべき
であるというものです。しかし、10
年後の今日を見ると、株価は上がり
企業の内部留保も400兆円を越す

までに増加したものの、一部の者に
富が集中し中間層は先細り残念なが
ら格差や貧困は克服されるどころか
子ども、若者から壮年、高齢者と全
世代へと一層拡大していますし、の
みならず社会的な分断・排除や孤立
も一層進んでいる状況です。

これに対して労福協はこの間、中
央や地域で①社会連帯を深める運動
と政策の実現、②暮らしの総合支援
(ライフサポート)、③利用促進・共
助拡大による労働者自主福祉運動の
基盤強化を主な柱として全国で取り
組みを進めて対応してまいりました。
社会的連帯の活動で言えば、この
間全国的に取り組んだ奨学金問題で
は大きく社会的関心を呼び、昨年3
月末に国としては初めての大学生等
を対象とした給付型奨学金制度が実

現しました。給付の額・規模や有利
子、返済困難者の問題、更には教育
費負担の軽減など課題はありますが
取り組みの成果には違いはありません。
また、生活困窮者自立支援事業
も直接・間接に全国で展開し、その
経験は国の3年後の見直しにも反映
されようとしています。

暮らしの総合支援でもライフサ
ポートによる相談事業は全国の各地
域での市民・県民の止まり木の役割
を果たしていますし、フードバンク
や子ども食堂、こども応援団の取り
組みも地域の貧困や孤立している人
達を支える役割を果たしています。
また、それらの活動を十分に支え
るため基盤強化としての労金や全労
済、生協との連携もこれまで以上に
強められています。銀行カードロー

ンと自己破産増加の問題での労金と
の連携、災害無保障者を無くす運動
での全労済との連携、生協連との連
携による協同組合フェスティバルへ
の参加などです。

さて、中央労福協は結成60年に際
し「連帯協同でつくる安心・共生の
福祉社会」を目指した2020年ビ
ジョンを策定しました。これは、連
合の21世紀ビジョンや外部評価委員
会の報告に流れる理念に連なるもの
で、運動を進める上での指針を示し
ていますが、その柱は①労働組合と
労働者自主福祉事業団体(労金や労
済)が共に運動する主体であること、
②すべての働く人・生活者の拠り所
の存在になること、③不条理を許さ
ない社会運動を実践すること、にあ
りこの10年間私たちはそのことを頭
に刻んで取り組みを進めてきました。
今一度この原点を噛み締めてこの困
難な時代に挑戦していきたいと思ひ
ます。この1年が労福協構成組織、組
合員の皆さまにとって実りある年で
あることを祈念し、挨拶とします。



今年も皆様と共に 全力邁進する事を誓う

中央労働金庫千葉県本部
本部長 日 高 英 彦

本年が皆様方に取りまして幸多く、
そして有意義な一年になります事を
ご祈念申し上げます。

日本国内では少子高齢化と人口減
少が労働力不足を生み出しつつあり
ます。世界では人工知能に代表され
る技術革新が跋扈し始めています。

我々労働金庫業態にとっても金融
テクノロジー、通称フィンテックが

今まで経験したことのない金融業の
あり方を創造していく事は確実です。
店舗やATM機、カード、そして現
金すら従来同様の機能だけでは不
要とされる時代が直前に迫ってきて
います。

一方ではキャッシュレス社会が胎
動し、他方では日本人の金融リテラ
シー（知識や知見）の不足が指摘さ

れている状況でどのようなサービス
の開発提供がこれまでの労働金庫の
進んできた道と合致していくのか、
進路を見誤らず前進あるのみです。

労働金庫は「フェイス・トゥ・フェ
イス」である事にこだわり、職場で
の顔が見える、働く者の金融機関で
あることをただ只管（ひたすら）に
信じ、体温や温もりといった人とし
ての要素を忘れることなく取り組み
を進めていかなければならないと考
えています。

組織の中でも地域においてもその
点は、労働金庫の決して失ってはな

必要性についても共済事業を通じて
全労済としての社会的使命を果たし
てまいります。

らない運動体としての原点である
と考えます。

新たな商品やサービスは現状認識
に立った上での従来の延長線上のも
のではないかもしれませんが。しかし
利用する会員や組合員の福祉向上こ
そが最大の目的である事を忘れるこ
となく丹精尽くして提案していきま
す。

皆様と共に、原点回帰と変革前
進を両立させるため日々研鑽努力を惜
しまず労金運動を推進させていきま
す。

共に頑張りましょう。



60周年の感謝を、 あたらしい未来につなげる

全労済千葉推進本部
本部長 細 根 洋

新年あけましておめでとござい
ます。旧年中は全労済千葉推進本部
に対して、ひとかたならぬ高配を
賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は10月末に日本列島を襲った
台風21・22号によって、千葉県域に
大きな被害がもたらされました。被
災にあわれた方々に、あらためてお

見舞い申し上げます。この台風で県
内700件を超える被災受付があり
ましたが、被災受付後は速やかに現
場調査を行い、共済金・お見舞金を
お支払いしております。生活再建の
ために迅速に共済金をお支払いして
いくこととあわせて、全国各地で続
発している自然災害に対する備えの

事業をおこなう協同組合として「み
んなでたすけあい、豊かで安心でき
る社会づくり」という理念を多くの
組合員・協力団体のみなさまと共有
することができました。60周年とい
う節目を機にこれから人々の暮ら
しの変化に、しっかりと応えるため
に、そもそもっと多くの人に安心を
届けるために、これまでの感謝の気
持ちは大切にしながら未来に向かっ
てスタートしていきたくと考えます。
むすびに皆様方のますますのご健勝と
ご多幸を心より祈念申し上げます。

2月15日に60周年を迎えます。共済



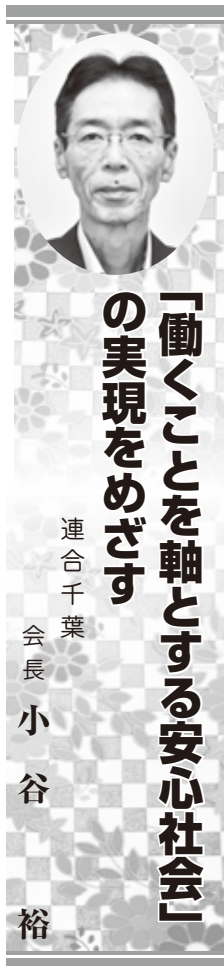
千葉県生活協同組合連合会
会長理事 鳥羽 治明

謹んで新年のお慶びを申し上げますと共に、旧年中に千葉県の生協に寄せられましたご支援とご協力に対し厚くお礼申し上げます。

生協の基本は、商品やサービスの供給・共済・福祉などの事業活動ですが、こうした事業と合わせて、子

育て支援・食の安全・消費者問題・環境を守る取り組み・平和の取り組みなど多彩な活動がおこなわれており、こうした活動に多くの組合員が参加しています。

昨年は、少子高齢化が進む中、地域社会の課題を「我が事」として



連合千葉
会長 小谷 裕

新年明けましておめでとございます。皆様におかれましては、家族お揃いで清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、連合千葉は1989年11月に結成され、間もなく30年という節目を迎えようとしています。この間、労働運動も組織内中心から、働く者

全てを対象とした運動に大きく拡大してきています。こうした中、雇用形態もいわゆる非正規雇用として働く人が年々増加傾向にあり、今では雇用労働者の4割近くを占めることとなっています。今、「働き方改革」が注目されていますが、長時間労働の是正をはじめ全ての労働者の立場

けとめ、くらしの助け合い活動や、サロン活動、子育て支援、見守り活動、生活困窮者自立支援など、支えあい、助けあいの組織として、地域社会づくりに取り組んでまいりました。様々な課題に共通していることが、「つながりのある地域づくり」ではないか、ということも感じております。

本年も、生協の基本である日常的な事業活動を更に発展させることと合わせて、様々な課題についても生

協らしい取り組みをすすめ、安心して暮らせる地域社会づくりに、より一層の努力を重ねていく所存です。また、平和を守る取り組みとして「ヒバクシャ国際署名」の呼びかけを継続し、多発する自然災害への支援、東日本大震災の被災地、被災者に対する支援も息長く続けて参ります。関係各位の引き続きご支援ご協力を心からお願いして新年の挨拶とさせていただきます。

に立った働き方を実現していくことが極めて重要であり、同時にその処遇の改善が果たされなければなりません。

早々に2018春季生活闘争がスタートします。今次春季生活闘争は、「底上げ・底支え」「格差是正」というこれまでの取り組みを継続しつつ、これを進化・前進させていくことには大きな意義があります。「経済の自立的な成長」に向け、連合がそのけん引役としての役割を發揮し、全ての働く人の底上げにつなげていくこ

とが重要です。

その他にも課題は多く山積していますが、構成組織・各地域協議会とともに「働くことを軸とした安心社会」の実現に向け、そして労働者福祉協議会をはじめとする福祉団体と連携しながら、働く者とその家族の幸せに向け取り組む所存です。

本年が皆様方にとりまして、幸多き年となりますようご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



2018年頭挨拶

労働者福祉中央協議会 会長 神津 里季生

新年明けましておめでとございます。
 昨年は中央労福協の諸活動、とりわけ奨学金問題において多大なご協力をいただき、ありがとうございました。お陰様で、給付型奨学金制度が創設されるなど、大きな前進がありました。今後とも、運動をさらに大きくして、給付型奨学金や無利子奨学金の拡充をはじめ、既存の返済者の負担軽減や救済策の拡充、学費を含めた教育費負担の軽減につなげていきたいと思います。

さて、内外ともに不透明さが増し、世界的に格差と貧困が拡大する中、一部の層だけが富を享受し社会の分断を推し進めるのか、それとも、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」が提唱するよつに「誰ひとり

取り残さない」包摂的な社会をめざすのか、私たちは大きな岐路に立っています。

日本においても、中間層が分解され二極化が進展し、あらゆる世代・層で格差・貧困が拡大し、孤立が広がっています。このため、労働時間の短縮や最賃の引き上げ、雇用の安定、社会保障の充実、所得再分配機能の強化を進めるとともに、生活困窮者自立支援制度など社会的セーフティネットを強化していくことが必要です。協同組合や労働組合も、働く場や居場所づくり、「助け合い・支え合い」の地域づくりにおいて役割を発揮していくことが求められています。

2016年に「協同組合の思想と実践」がユネスコの無形文化遺産として登録されるなど、協同組合の役割への世界的な評価が高まっています。こうした期待に応えて、協同組合の社会的価値と力量を高め、労働組合と協同組合が「ともに運動する主体」としての関係を強化しつつ、共助の輪を地域に広げていきたいと思います！

中央労福協は「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」（2020年ビジョン）の実現をめざして活動を展開するとともに、2019年の設立70周年に向けて、次なる時代を切り拓くための新たなビジョンづくりにも取り組んでまいります。

引き続き皆さまのご支援をお願い申し上げます。

2016年に「協同組合の思想と実践」がユネスコの無形文化遺産と

本年もよろしく

お願いいたします

(一社) 千葉県労福協役員

会長	黒河 悟	連合千葉
副会長	日高 英彦	中央労金 千葉県本部
副会長	細根 洋	全労済千葉 推進本部
副会長	鈴木 光	連合千葉
常務理事	小柳 光廣	千葉県労福協
理事	牧野 昌子	NPO法人 地域製造 ネットワークは
理事	津崎 暁洋	野田地区労福協
理事	永富 博之	連合千葉
理事	椎名 衛	連合千葉・自治労 千葉県本部
理事	千頭 洋一	連合千葉・UASE ンセン千葉支部
理事	水野 準一	連合千葉・ 基幹労連
理事	小川 悟	連合千葉・ 県私鉄
理事	寺田 昌明	中央労金 千葉県本部
理事	出島 隆史	全労済千葉 推進本部
理事	首藤英里子	千葉県生協連
監事	福島慎太郎	連合千葉・ 電機連合
監事	大塚 隆	中央労金 千葉県本部
監事	布能 真一	全労済千葉 推進本部
顧問	岡田 勝	2代目会長
顧問	小泉津都武	3代目会長



市川・浦安地区



会長 植木 誠

あけましておめでとございます。本年は相
変わりましてよろしくお願ひします。
組合員とその家族のしあわせ・ゆたかさを目
指し、ボウリング大会や三番瀬での「潮干狩り」
を行っています。新たな行事を行い、人と人との
つながりと絆を深めていきたいと思ひます。

「働く」とは、人が動くという字です。幹事が一所懸命動く
ことで、ハタが楽になるから「働く」です。そのために、「やる
気・本気・根気」をポリシーとして、労福協を育て、広げよ
う。そして、なかま・地域を守り、不寛容な社会を打破し、安
心と信頼の福祉（しあわせ・ゆたかさ）を作り上げましょ。う。
労福協の発展のために、構成団体である連合千葉・労働金庫・
全労済と連携を強め、「連帯と協同でつくる安心 共生の福祉社
会」の実現に向け活動を推進し、格差拡大・貧困問題への取り
組みに、共にかんばりましょ。う。

安房地区



会長 渡邊 泰彦

旧年中は、安房地区労福協に對しまして、県内の
仲間の皆様に大変お世話になり、心より感謝申し上
げます。昨年、安房地区労福協では、神奈川方面へ
のバスツアーを行いました。ズーラシアや藤子・F・
不二雄ミュージアムを訪れ、会員の家族も含めて笑
顔いっぱい、楽しいひとときを過ごすことができました。
長時間労働、医療や介護、子どもの貧困や震災からの復興等、誰
もが豊かに、幸せに暮らしていくためには、解決しなければならな
い課題はたくさんあります。今年も千葉県労福協の事業と地区行事
をリンクさせながら、安房地区の福利厚生事業の推進をめざし、で
きることから一歩ずつ歩みを進めていく所存です。
皆様にとって本年が素晴らしい年となりますことをご祈念申し
上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしく
お願ひいたします。

銚子地区



会長 宮内 哲男

新年のご挨拶を申し上げます。
会長就任2年目途中の身となりますが、今
年はワンパターン化しつつある活動に新しい
メニューを加えたいとの抱負を持っておりま
す。近年の活動は①年に一度開く総会と合わ
せて時宜に合ったテーマで開くセミナー②
歳末助け合い街頭募金③新春の勤労者ボウリング大会が柱と
なっており、そのうち②と③については連合・銚子地区連絡
会と共催の形をとっております。

福祉活動には広い領域と多様なニーズがあり、その推進を
地区労福協レベルでは、財政事情と人的な面でかなりの制約
も生じますが「勤労者とその家族に向けた福祉向上」を目指
し、できたら他力本願の甘えもなく、大上段に構えること
なく、より多くの勤労者とその家族が、お互いのつながりと
助け合い、交流が図れる場を作ることができればベターかな
と考えております。

匝瑳地区



会長 山崎 良夫

わが労福協は、事業の一つに「地震・津波・原発事故」の被
害を受けている福・島県浪江町の視察の旅を昨年11月19・20日17
名の参加者で実施した。
安達太良山に新雪が降り薄く積もる岳温泉の寒い朝
2017年9月に全面開通した国道114号線で浪江に向かっ
た。線量計は浪江地区に近づくにつれ、ピッ・ピッ・ピッと早
く・大きくなっていく。道路沿いの集落入口にはバリケードが
張られ、侵入禁止の「帰宅困難区域」の看板が立てられている。町の拡張したメーン
通り商店街は誰も歩いていない不気味な感じだ。
現地ガイドの方の案内で、被爆牛を原発事故にあらがう象徴として飼育している「希
望の牧場」吉沢牧場と農家の佐藤さん宅、津波にのまれ壊れた請戸小学校跡（校長の
早い判断と子供たちの機転で高台に逃げた全員が無事）を視察。
高い放射能のため国道6号線は通過のみ（駐停車禁止、徐行して第一原発1.5キ
ロ付近まで近づいた時、線量計が、40、50、60、70マイクロシーベルトと跳ね上がっ
た。町役場は改修され業務が行われていた。一部解除された地域もあるが現状は帰還
率1.06%（3000人）人口22,000人にとどまる「私たちの町の放射線量は
平均0.02〜0.03マイクロシーベルト程度、浪江にいつ戻れるのだろうか。」
私たち協議会は今年2月に、「小さき声のカノン」（原発事故から非難しなかったお
母さんたちのドキュメント）映画を上映する予定です。

地区労福協

年頭のご挨拶

千葉市地区



会長 水野 準一

新年あけましておめでとうございます。
 千葉市地区労福協は、県労福協や各地区労福協と連携し、地域福祉の向上を目指して諸活動に取り組んでいます。今期も定期総会で確認された活動方針に基づいた活動をすすめており、具体的には、連合千葉地域協議会との共催事業である「自然を守るついで自然と親しむ会」、地区独自活動として「ボウリング大会」を開催してきました。今後は、例年の取り組みである「講演会」と昨年初めて開催した「チャリティいちご狩り大会」を予定するなど、活動の充実を図りながら労働者福祉の一助となるよう努めていきます。本年が組合員とご家族の皆様にとって幸多き一年になりますようご祈念申し上げますとともに、労福協運動に対する引き続きのご協力をお願いし、新年のご挨拶といたします。

どうぞよろしくお願いたします。

長生・茂原地区



会長 林田 雅樹

新年あけましておめでとうございます。
 長生茂原地区労福協では、長生茂原地区に勤務または居住するすべての勤労市民とその家族のニーズのうちから、とりわけ、社会的・組織的に応えていくべき諸問題に力点をおき、地域福祉の向上をめざし活動を展開しています。
 昨年はこれまで実施してきましたチャリティゴルフ大会に替え、チャリティバスツアーを敢行しました。お菓子工場見学では、お子さんたちも楽しひとときを過ごされたことと思います。ランチピクニックや川越散策では多くのおいしいものに巡り会えたことでしょう。今年も多くの方に喜んでいただけるようなバスツアーを計画していますので楽しみにしていただければと思います。
 最後にありますが、本年がみなさまにとって幸多き一年になりますようご祈念するとともに、長生茂原地区労福協への変わりぬご支援をお願いし、新年の挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願いたします。

八千代地区



会長 後藤 道宣

新年あけましておめでとうございます。
 皆様にはいつもお世話になり心より感謝申し上げます。
 私、昨年11月に数年ぶりに労働者自主福祉運動シンポジウムに参加しましたが、新しい話を聞いているようでした。その中で一番に上げるのは「ボタ山の絵日記」ザリガニ取りの話です。(昭和32年頃)子供達5〜6人、上は中学生、下は幼児、全員で取ったザリガニを取った量でも年齢でもなく家族の人数に合わせ分け合っのですが、最後に一匹のごらんです。その一匹を一匹も取れなかった幼児が一番取った中学生があげて話します。私だったら最後の「一匹は私がいた」と思いますが、このザリガニの配分方法はすてきたと思いましたが、一匹も取れなかった幼児が一番多く配分されました。今の社会でこのような話は聞くことができません。この話は連帯の原点を見ているようで、これは私たちに今一番必要なことだと思います。昨年10月にフードバンクちばと八千代市社会福祉協議会がフードドライブを開催しました。地域のみなさまにフードバンクを知っていただけただけの良い機会になったと思います。

これからも労福協の活動を発信していきたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

野田地区



会長 津崎 暁洋

新年のごあいさつを申し上げます。
 昨年の野田地区労働者福祉協議会は、恒例の「労働者バスツアー」「勤労者ボウリング大会」「フードドライブ活動」を実施し、多くの労働者やその家族が参加しました。また「ライフプランニングセミナー」を初開催し、20代を中心とした男女の参加のもと組織の垣根を超えた学習・交流を行いました。
 より多様な、年齢・性別・生き方・考え方の組合員が参加できるように学習機会や交流イベントを幅広く提供し、参加者と一緒作り上げ・深化させていくことは、私たち子どもたちの未来を支える積極的な組合員を増やすことにも繋がると考えています。
 労働者を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いていますが、そのような時こそ私たちの連帯や連携が必要不可欠です。2018年も、多様な価値観や日々変化するライフスタイルも踏まえ、昨年以上に労働者自主福祉運動の充実を図ってまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。



第34回 チャリティゴルフ大会

開催される!!

2017年10月30日(月)、真名カントリークラブで第34回千葉県勤労者チャリティゴルフ大会を、28組99名の働く仲間の皆さんが集い開催しました。



黒河会長あいさつ

大会は台風22号の接近に伴い開催判断に大変苦慮しましたが、台風一過の秋晴れに加え台風余波の強風が吹きあれる中でしたが無事開催することができました。ナイスショットに珍プレーとなごやかに大会が進み、プレー終了後の待ち時間を活用しての「パターゲーム」では、結果カップインされた方はいませんでした

が、もう少しでカップインの方が続出し大変な盛り上がりを見せました。その後の表彰式では多くの皆さんに参加頂いた中で成績発表が行われました。個人の部は連合千葉会長を退任されたばかりの鈴木光さんが初優勝され、団体の部ではJAM東京千葉Aが昨年に引き続き連覇を果たされました。今回も多くの賞品を提供頂きました労働団体、福祉団体、関係企業等に厚く御礼申し上げます。また、参加者全員と入賞者の皆さんからのチャリティ募金は、16万円となりました。社会的な福祉運動を展開している団体等へ寄付いたします。紙面を借りにご協力を頂きました皆さまに感謝申し上げます。

千葉県労働者チャリティゴルフ大会は、毎年10月30日(月)に真名カントリークラブで開催されています。今年も28組99名の働く仲間が参加し、大盛り上がりを見せました。表彰式では多くの皆さんに参加頂いた中で成績発表が行われました。個人の部は連合千葉会長を退任されたばかりの鈴木光さんが初優勝され、団体の部ではJAM東京千葉Aが昨年に引き続き連覇を果たされました。今回も多くの賞品を提供頂きました労働団体、福祉団体、関係企業等に厚く御礼申し上げます。また、参加者全員と入賞者の皆さんからのチャリティ募金は、16万円となりました。社会的な福祉運動を展開している団体等へ寄付いたします。紙面を借りにご協力を頂きました皆さまに感謝申し上げます。

政策・制度を千葉県に要請する!!



雇用労働課長に要請書を手渡しする黒河会長と労協役員

千葉県労協は、政策活動として「千葉県予算に対する政策・制度の要請」を行っています。8月理事会で方針決定して以降、中央労協協の政策、構成組織や連携団体からの政策要望等を受け止め議論を重ね10月の第29回理事会で取りまとめを行いました。千葉県に対しては、11月1日(水)千葉県庁において会長、副会長、常務理事の5名で商工労働部雇用労働課へ要請書の提出と要請内容の説明を行いました。要請内容は全部で48項目となりました。



パターゲームの風景



団体の部 連覇のJAM東京千葉Aチームの皆さん

個人賞

優勝	鈴木 光 (労福協A)	グロス95、HC25.2、NET69.8
準優勝	白鳥 昭 (市原市役所A)	グロス88、HC18.0、NET70.0
3位	芹川 義雄 (小川)	グロス99、HC28.8、NET70.2
ベスト	山内 剛 (市原市役所B)	スコア74



個人の部 初優勝!鈴木光さん

団体賞

優勝	JAM東京千葉A	NET215.8
準優勝	連合千葉外房地協B	NET217.6
3位	小川	NET222.0

その他、パターゲーム賞、ニアピン賞、ドラコン賞 他



要請内容の説明

【千葉県予算に対する要請内容】

- ① 千葉県労働者福祉協会についての要望
- ② 連帯経済を促進する協同組合・協同組織の育成支援
- ③ 大規模災害等の被災者支援と復興・再生および災害対策
- ④ 労働者の生活安定に関する要請
- ⑤ ぐらしの安全・安心について
- ⑥ 格差・貧困社会の是正、ナショナルミニマムの保障、セーフティネットの強化
- ⑦ 消費者行政の充実強化
- ⑧ 多重債務対策
- ⑨ フードバンク活動の促進

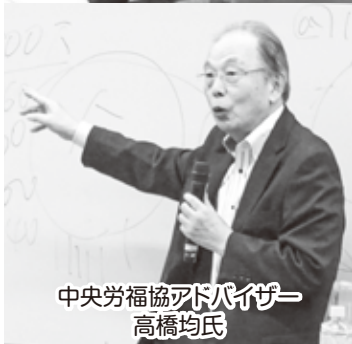


2017
年度

労働者自主福祉運動 シンポジウム

開催する!!

2017年11月18日(土)、京成電鉄労働組合
会館3階大ホールにおいて千葉県労協主催の
「2017年度労働者自主福祉運動シンポジウム」
を中央労金千葉県本部、全労済千葉推進本部、連
合千葉、中央労金労組千葉統括支部、全労済労組
関東支部千葉分会の共催により開催しました。



中央労協アドバイザー
高橋均氏

本シンポジウムは、中央労金労
組、全労済労組の呼びかけにより
2012年度から開始し今回で6回
目の開催となりました。シンポジウ
ムは、はじめに戦前日本の労働運動、
農民運動、生活協同組合運動等にお
いて、重要な役割を担い、生協の父
と言われた賀川豊彦氏について映像
で学び、その後、中央労協アドバ
イザーの高橋均氏による「歴史から学
ぶ労働運動と労働者自主福祉運動の
理念・課題」の講演が行われました。
そして中央労金千葉県本部・日高常
務理事、全労済千葉推進本部・細根
本部長から事業運動への思いが語ら
れ、それぞれの
の取り組みと
課題を共有化
し、今後の運
動に向け意思
合わせをする
シンポジウム
となりました。



2017年度

マイナンバー制度・ 税務研修会



関口税理士

2017年12月8日(金)千葉県
教育会館会議室において千葉県労協
「2017年度マイナンバー制度・
税務研修会」を開催しました。はじ
めに「労働組合に関わる税務」につ
いて、その後「マイナンバー制度」
についての研修を行いました。労働
組合等の役職員の皆さんに参加を頂
きました。講師の関口税理士から、
「労働組合等の会計税務に関わる実
務マニュアル」と「社会保障・税番
号(マイナンバー)制度の概要につ
いて」を、この間の税制改正の概要
(法人税・消費税関係)を交えなが
ら分かりやすく講義して頂き、質疑
応答を通し理解を深めました。また、
研修会終了後
には個別相談
の時間を設け
相談者に対し
ご指導を頂き、
熱の入った有
意義な研修会
となりました。



連合千葉第16回定期大会を開催する！

連合千葉の「力と政策」に磨きをかけ、次の飛躍へ、確かな一歩を踏み出そう！

連合千葉は、2017年10月20日（金）にオークラ千葉ホテルにおいて、執行部、代議員、特別代議員、傍聴者を合わせ203名の出席のもと、「第16回定期大会」を開催いたしました。

今定期大会では、議長団に丹藤代議員（基幹労連）と伊勢代議員（自治労）を選出し、議事運営を行いました。ご来賓挨拶では、連合逢見会長代行、滝川千葉県副知事、熊谷千葉市長をはじめ、多くのご来賓のみなさまより激励の言葉を頂戴しました。

議事では、経過報告に続き「2018～2019運動方針」「2018年度予算」「役員改選」等、6つの議案について活発な議論のもと、すべての議案を満場一致で可決いたしました。

また、大会宣言の採択と



本大会にて就任された小谷会長

もに「ディーセントワーク世界行動デー」に向けた心あわせを会場のみなさまと確認し、成功裡に閉会いたしました。

【連合千葉の今後の活動】

第16回定期大会において、力と政策に磨きをかけ、次の飛躍に向けた地力を強化する2年間とする運動方針が確認決定されました。これは、1989年に結成された連合が結成30年の節目を前に、より良い職場、より良い社会に向けた原動力として、連合が労働運動の先頭に立ち、全ての働く者のために次の時代に運動を繋いでいくという考え方のもと、くらしの底上げ、ディーセントワークの実現、格差是正、男女平等参画社会に向けた一層の取り組み等、「力と政策」に磨きをかけていく2年間と位置づけております。

具体的には、連合構成組織と千葉県内7つの地域協議会との「タテ・ヨコ」の連携強化による地域に根ざした顔の見える運動の推進、毎月15

日を「連合千葉の日」とした街宣行動や地域協議会の協力による主要駅にて駅頭街宣行動、連合の企画する全国一斉労働相談や最低賃金の周知活動等、政策の実現と格差是正に向けた世論喚起に取り組みます。また、非正規・未組織労働者の支援活動として「職場から始めよう運動」の定着、労働者自主福祉運動の強化等、全ての働く者のための運動を推進いたします。



給与振込口座は〈中央ろうきん〉がおすすめ!



さらに、便利になりました!

キャッシュカードが全国の金融機関・コンビニATMで使える!

銀行・信金・信組 ゆうちょ銀行 イオン銀行

24時間
ご利用可能

セブン銀行 FamilyMart ATM など

始発から終電まで
年中無休!!

JR東日本の
ATMコーナー VIEW ALTTE
ビューアルツエ

※設置場所や営業時間、メンテナンス等によりご利用いただけない場合があります。



ATM・CD引出手数料 がキャッシュバック!

〈中央ろうきん〉のカードなら

ATM引出手数料が
誰でも即時
キャッシュバック!

0円

◆ご利用に関しては以下をご確認ください

【ATM・CD引出手数料キャッシュバックサービス】

※普通預金・貯蓄預金口座のお引出し、
カードローン(マイプラン・教育ローン [カード型])
のお引出しを対象に、ATM・CDご利用時のお引出
手数料が即時にご利用口座へキャッシュバックされます。
※キャッシュバック回数に制限はありません。

2018年1月1日現在



例えば、手数料
比べたら
こんなにオトク!

引出手数料	1ヶ月の引出回数 108円の場合 × 5回 × 12ヶ月 = 1年間	6,480円
振込手数料	1ヶ月の振込回数 432円の場合 × 3回 × 12ヶ月 = 1年間	15,552円

キャッシュ
バック
される金額!!

あんしん創造バンク
ろうきん

投資信託 金利上乗せ 定期預金

投資信託 + 定期預金

同日申込みで

対象預金の店頭表示金利よりさらに

プラス
十年 **1.0%** 金利上乗せ

●スーパー定期預金 ●大口定期預金

生活に豊かさと安心を
もっとあなたと、ずっと一緒に

対象条件

投資信託 **100万円**以上のご購入

※投資信託の新規購入金額と同額までお預け入れいただけます。

預入期間

1年

●預入金額: 1口 100万円以上(1円単位)
●満期時のお取扱い
自動継続(元金継続・元利継続)または自動解約
※自動継続後の適用金利は、満期日当日にお
ける店頭表示金利となります。

※金利上乗せの適用には、投資信託の100万円以上のご購
入が条件となります。(公社債投資信託・日本債券ファンド
は対象外となります。)※インターネットバンキングでご購
入された投資信託は対象外となります。※投資信託と定期
預金の同日申込みが条件となります。※満期前の定期預金
の中途解約金からの預替はできません。(自動継続の場合
は1度でも満期日を跨いでいることが条件となります。)

適用期間

2017年4月3日(月)~2018年3月30日(金)

※ATMや「インターネット/モバイルバンキング」にて作成い
だいた定期預金は対象とはなりません。※〈中央ろうきん〉定
期預金は、預金保険制度の対象商品です。※店頭表示金利およ
び上乗せ金利は税引き前であり、お利息には20.315%の税金が
かかります。※中途解約された場合、当金庫所定の中途解約金
利が適用となります。※金利情勢等により、予告なく商品内容
を変更したりお取扱いを中止する場合があります。※他の金利
上乗せ定期預金との重複適用はできません。※店頭に説明書
をご用意しています。※最新の店頭表示金利は、店頭または当
金庫のホームページでご確認ください。※詳しいお問い合わせ
・ご相談は〈中央ろうきん〉営業店までお問い合わせください。

お問い合わせは 〈中央ろうきん〉 千葉県本部へ TEL : 043-251-5162

2018年1月1日現在

全労済文化フェスティバル

全労済千葉推進本部は2018年2月15日（木）に創立60周年を迎えます。

組合員の皆さまへ感謝の気持ちを込めて2018年4月1日（日）に創立60周年記念イベント「全労済文化フェスティバル」を開催いたします。

たくさんのご応募をお待ちしております。

- 講演内容** 「オズの魔法使い」
- 講演日時** 2018年4月1日（日） 開場：13：30 開演：14：00～15：40（予定）
- 講演場所** 千葉県文化会館大ホール
- 入場料** 無料
- 応募資格** 全労済の組合員とご家族
※組合員1名あたり4名まで同伴いただけます。
- 応募人数** 1,500名
- 応募締切日** 2018年2月16日（金）
- 応募方法** ホームページで応募を受け付けております。
※詳細については全労済千葉推進本部のホームページをご覧ください。

<文化フェスティバルポスター>



おすすめ ポイント♪

- 不朽の名作・オズの魔法使い！原作の持つしっかりとしたテーマ性に加え、舞台ならではの表現方法にも注目です！
- 近年では「次世代を担う子供の文化芸術体験事業」にも採択され、数あるオズの魔法使いの中でも注目の存在となっています！



開会式 千葉県協同組合提携推進協議会の小茂田代表よりあいさつ。

海と大地とくらしの祭典

11月12日(日曜日) 千葉ポートパーク

11月12日(日曜日)、千葉ポートパーク円形広場において「第28回千葉県協同組合フェスティバル～海と大地とくらしの祭典～」が開催されました。



会場と一体になったパフォーマンスを披露した「YOSAKOI連 桜舞」の演技。



千葉県ユニセフ協会



「ママン・シーウインドピヨコ隊」の演奏



生活クラブ虹の街



コープみらい



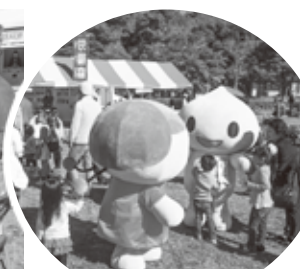
なのはな生協



パルシステム千葉



千葉県労働者福祉協議会、全労済千葉推進本部、中央労働金庫千葉県本部



このフェスティバルは、千葉県内の協同組合の交流を図り、また県民に「協同組合」をアピールすることを目的に88年に初めて開催され、今年で第28回を迎えました。JA・漁協・森林組合・生協の4協同組合とNHK千葉放送局の主催団体および千葉県農林水産部、全労済千葉推進本部、中央労働金庫千葉県本部、千葉県労働者福祉協議会、千葉県ユニセフ協会が出展参加しました。当日は、爽やかな秋晴れのもと、開会前より多くの参加者で賑わいました。

農協コーナーでは、県産青果物や鉢花の販売、焼き芋や県内落花生の販売の他、手作り農産加工品の販売など多彩な企画がおこなわれ千葉の農産物をアピールしました。

森林組合のコーナーでは、生椎茸・林産

物・炭製品などの販売がおこなわれ、恒例の焼き椎茸の試食も好評でした。

漁協コーナーでは、海苔、水産加工品やあさりの味噌汁、サザエのつぼ焼き、さんま丸干し焼き、アジさんが焼きなど好評でした。

NHKのコーナーでは、「雑穀アートをつくらう!」やNHKキャラクターふれあい広場、「チャレンジ!まめ運び競争」が開催されました。

生協コーナーでは、パルシステム千葉、コープみらい、生活クラブ生協、なのはな生協、全労済千葉推進本部、中央労働金庫千葉県本部、千葉県労働者福祉協議会が実行委員会を組織して準備をすすめて様々な企画を行い、どのコーナーも大好評でした。

千葉県ユニセフ協会コーナーでは、地雷レプリカの展示やユニセフ支援品を学ぶ「釣りゲーム」、ユニセフ資料配布などがおこなわれました。

千葉県農林水産部コーナーでは、落花生新品种の紹介や県産農産物のPR、水総研の仕事の紹介などがおこなわれました。

会場正面のステージでは、「いすみ鉄道公認房総半島応援アイドル BOSSO娘 ミニライブ」「宇宙戦隊キュウレンジャー」ショーが子供たちの人気を集め、第一回から連続出演の「磯浜太鼓」の他、「手話ダンスもみじ」、「ママン・シーウインドピヨコ隊」、「YOSAKOI連 桜舞」、「花鳥風月」がフェスティバルの雰囲気を盛り上げました。



中央労福協 第63回 定期総会開催される!!



神津会長

中央労福協第63回定期総会が2017年11月22日(水)ホテルラングウッドにおいて開催され、2018〜

2019年度活動方針をはじめ、全ての議案が満場一致で承認決定され、神津会長体制の2期目がスタートしました。活動方針では、「2018〜2019年度活動の方向性」として2020年ビジョンの最終年度として、①社会連帯を深める運動と政策の実現、②暮らしの総合支援(ライフサポート)の推進、③協同事業、労働者福祉運動の基盤強化を活動の柱として取り組むことを決定しました。

第63回定期総会スローガン

〈メインスローガン〉
連帯・協同で
安心・共生の福祉社会をつくらう!

〈サブ・スローガン〉
労働者自主福祉運動の推進で、地域に共助の輪を広げよう!

- ◇教育費負担を軽減し、だれもが安心して学べる社会を実現しよう!
- ◇貧困や排除のない社会をめざして、生活・就労支援を強化しよう!

「地域を支えよう!〜生活困窮者支援の課題」

シンポジウム開催される!!



2017年11月27日(月)全電通労働会館において連合、中央労福協(共催)によるシンポジウムが開催されました。本シンポジウムは、生活困窮者自立支援法施行3年後の見直しにあたり、生活困窮者を包括的・継続的に支えていけるよう、制度改善の課題や、連合や労働組合、労福協として取り組む課題を明らかにすることを目的に、厚生労働省による部会での議論状況報告、岡部首都大学東京教授による基調講演、そしてパネルディスカッションが行われ、状況・課題や求める方向等が共有化されるシンポジウムとなりました。



主催者あいさつ
連合 相原事務局長



首都大学東京 岡部教授



厚生労働省 本後室長

第214回幹事会を 成田市で開催する！



労働者福祉東部ブロック協議会第214回幹事会が10月12日（木）成田市において開催されました。第52回定期総会の議案を中心に今後の福祉リーダー塾の運営等について熱心に協議がされました。また、翌日には、企業組合労協センター事業団芝山地域福祉事業所あぐりくんを訪問しBDF（バイオ燃料）製造施設の視察と、「ともに生きるまち、資源循環型地域づくり」等の説明と意見交換がされました。

労働者福祉東部
ブロック協議会

第52回定期総会



黒河会長あいさつ

2017年11月30日（木）長野県長野市において労働者福祉東部ブロック協議会第52回定期総会が構成団体1都10県の地方労協協参加のもとに開催されました。

黒河会長からは「昨年の50周年を新たな一歩に活動を進めてきた。貧困・社会の分断は広がり、若者支援や働き方



ライフリンク
代表 清水康之氏

改革が課題となっており。労協協や協同組合を強化し社会を強化していかなければならない。

「SDGs、労協協結成70周年と2020年ビジョンに触れた挨拶がされた。来賓として長野県、中央労協協、連合関東ブロック、中央労働金庫、全労済関東統括本部から連帯の挨拶を頂き、議事は全て満場一致で承認され、新年度の運動がスタートしました。総会後の記念講演では、NPO法人自殺対策支援センター「ライフリンク」代表の清水康之氏から「誰も自殺に追い込まれることのない社会へ」地域のつながりが命を守る」をテーマに講演を頂きました。また、翌日から役職員研修では、アズミ村田製作所の工場見学をはじめ大王わさび園、松本城、諏訪大社等、長野県の文化や歴史に触れる研修が行われました。

第11期福祉リーダー塾 修了する!!

第11期福祉リーダー塾は、10月27日（金）に東京都田町交通ビルで開催された修了式をもって全日程が終了しました。

前半は、5月26日（金）・27日（土）、

後半は7月7日（金）・8日（土）

に静岡県三島市にある東し総合研修センターで開催され、前半・後半の内容を通し、受講生による小論文の作成が行われました。修了式

では、課題提起として「労働者自主福祉運動の今後に期待すること」として、東京大学公共政策大学院の鈴木寛教授による講演が行われ、その後、小論文の発表と講師陣からの講評・意見交換が行われました。熱気のある中で修了式が進み、黒河会長より30名を超える受講者に修了証書が交付され第11期リーダー塾は終了しました。

ネットワーク団体等の活動紹介

千葉県労協は、「地域創造ネットワーク」、「協同労働の協同組合ネットワークちば」、「フードバンクちば」、「消費者行政充実ネットワークちば」、「貧困問題を考える懇談会」や「ひと・くらしサポートネットワークちば」をはじめ多くの団体に参加し、市民との協同や幅広いネットワークで社会的課題に取り組んでいます。

この間の主な取り組みについて紹介・報告します。

フードバンクちばのPR活動等を進める!!

千葉県労協は、「フードバンクちば」の活動紹介を、4月29日の千葉県中央メーデーや、11月12日の千葉県協同組合フェスティバルに参加し実施しています。また、10月22日に野田市文化ホール等で開催されたパルシステム



千葉「第42回生協まつり」へも、昨年に引き続き「フードバンクちば」と一緒になって参加しフードドライブやフードバンクの活動紹介を実施しました。

フードドライブについても千葉県労協と、野田地区労協が受取窓口になるとともに、その回収応援等も行っています。フードバンクちばへの一層のご支援ご協力をお願いします。

「千葉市里親制度推進シンポジウム」が開催される!!

2017年10月29日(日) 千葉市さばーる3階の子ども交流館において、「里子たちの声に耳を傾けて…社会的養護が必要な子どもたちのために、私たち大人ができること」を掲げ千葉市里親制度推進シンポジウムが開催されました。主催者は千葉市、実施団体はNPO法人「ちばこどもおえんだん」です。



はじめに、千葉市児童相談所長より主催者挨拶と千葉市の状況や里親制度の説明がされ、第一部基調講演では、「熱を持って接すれば、熱を持ってかえってくる」と題して、元プロボクサーの坂本博之さんから、両親の離婚、虐待の経験、児童養護施設での生活、プロボクサーへの挑戦、引退、そして今日の取り組み等、多くの感動を受けるお話がされました。続いての第2部「里子さん、実子さんのお話」と坂本さんのトーク」では、「ちばこどもおえんだん」湯浅理事長の進行で行われました。子どもたちの経験や思いを聞いた上での坂本さんのお話は多くの共感を生みました。社会的養護、里親制度を知って頂き理解を深めるシンポジウムとなりました。



東日本大震災被災者支援・東北復興イベント「縁Joy・東北」2017開催される!!

2017年12月2日(土)イオンモール幕張新都心グラウンドスクエアにおいて、「縁Joy・東北」2017が開催されました。被災者・支援者を対象とした専門家相談、会津起き上がり小法師絵付け等の体験、東北三県の物産や、被災者・支援団体の手作り品等の販売、そして福



島県浪江町の獅子舞、双葉町の太鼓、千葉県旭市飯岡のお囃子等々のステージ企画等、盛り沢山の内容が行われ、多くの関係者や市民が参加され、活気があり、理解と交流が深まるイベントとなりました。

あけまして
おめでとうございませす。

本年もよろしくお願ひ申し上げませす。

二〇一八年 元目

あなたと
わかちあう
次の一歩

ろっさきん




ZENROSAI NEWS



全労済は、たすけあう
心から生まれた
保障の生協です。



全労済の 住みいる共済	新火災共済・新自然災害共済
こくみん共済	総合医療共済
せいいい共済	マイカー共済
自賠償共済	団体生命共済
交通災害共済	新セット移行共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会